



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



日本医療機能評価機構

済生会

わかやま

NEWS

第39号

発行日: 2019.2



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

平成最後のお正月が訪れました。明けましておめでとうございます。この度、平成30年10月25日をもちまして、済生会和歌山病院は創立70周年を迎えることができました。これまで当院の取り組みに関してご支援下さった関係者の皆様、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。ここで済生会和歌山病院の70年の歴史と歩みを振り返りたいと思います。

済生会は明治44年2月11日、明治天皇が当時の総理大臣である桂太郎に「施薬救療以テ済生ノ道ヲ弘メントス」という済生勅語に添えて150万円（当時の東京駅建設費用の約2倍の額）のお手許金を下賜されたことに始まり、大正2年9月1日に、関西では大阪に次いで2番目に和歌山診療所が開設されました。その後、第二次世界大戦の空襲により、診療所は全焼しましたが、昭和23年10月25日に6診療科・37床の新たな病院として済生会和歌山病院が開設されました。

以来、増改築を経て、昭和54年5月23日に12診療科・200床の病院となり、平成15年10月14日に現在の和歌山市街中心部（和歌山県立医科大学附属病院別館跡）に移転・開院いたしました。

当院は「患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する」こと、「地域の中で常に求められる病院であること」を目指しており、基本方針として先進医療を取り入れ、高度な医療水準を維持していくことはもちろんのこと、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院であり続けられるような環境を作っていくことを目標に取り組んでおります。

その一環として、この度平成30年4月16日に北館が増築・開館し、更に安全で質の高い医療の提供が可能となりました。

今後も地域医療に根ざした病院として親しまれ、信頼される病院であり続けられるように、職員一丸となって精進したいと思っておりますので、今後ともご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

創立70周年を 迎えました

済生会和歌山病院
院長
松崎 交作



最後に創立70周年を迎え、そして北館を増築した、地域の中核病院としての済生会和歌山病院の担うべき役割を列挙してみました。

1. 救急医療

地域の中核病院、公的病院であり、二次救急指定病院として、救急患者の受入れを積極的に行っていく。現在、和歌山市の救急搬送患者の約10%を収容している。

2. がん対策

特定検診の充実を図り、とくに内視鏡診断、病理診断の迅速化を進める。がん認定薬剤師等による抗がん剤治療患者への積極的支援を行う。

3. 災害支援病院

大規模災害等発生した場合に備え、災害拠点病院を補完し支援する「災害支援病院」としての医療体制の確保、役割を果たします。

4. 回復期リハビリテーション病棟

現状の回復期病床40床を維持し、退院後のリハビリ的支援体制の強化についてさらに進める。

5. 地域連携

地域連携室を中心に医療連携・ネットワークの強化・充実を図っていきたいと考えています。

これからも、職員一丸となって精進いたしたいと思っておりますので、今後ともご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

～ ご挨拶 ～

皆様におかれましては、平素よりご指導賜り誠にありがとうございます。

2018年10月1日から外科が新体制になり、堀田 司、石田 興一郎、重河 嘉靖の3名が、新たに外科部門の診療に携わらせていただいています。

診療内容の大きな変更点は、乳腺外科・呼吸器外科中心の診療から消化器外科の診療、特に内視鏡外科（腹腔鏡手術）が中心になる点でございます。

私は、平成元年に和歌山県立医科大学を卒業後、同大学消化器外科（現第2外科）に入局し、その後、済生会有田病院、和歌山県立医科大学消化器外科、勝浦日比記念病院、国立大阪南病院、和歌山労災病院、和歌山県立医科大学第2外科、南和歌山医療センターに勤務の後、当院に赴任してきました。

専門は消化器疾患にかかわる外科治療全般ですが、和歌山県立医科大学第2外科勤務時は、集学的治療にかかわる寄附講座である腫瘍制御学講座の教授を拝命し、メディカルスタッフや若手医師医学生に対する教育活動とともに臨床では大腸癌の集学的治療を主とした研究テーマとしていました。手術手技に関しましては、拡大手術とともに根治性・機能温存を求めつつ身体にやさしい低侵襲な腹腔鏡手術を積極的に行いその成績を国内外に広く発信してまいりました。さらに、直腸癌に対するロボット手術にも従事していました。前任地の南和歌山医療センターでは、「紀南地域の腹腔鏡手術センター」となることを使命として、スタッフの協力のもとに食道癌・胃癌・大腸癌・肝臓癌・小腸腫瘍・脾疾患・胆石・ヘルニア・虫垂炎・腹膜炎・腸閉塞などほぼすべての適応のある疾患に対して腹腔鏡手術を完遂することができるようになりました。和歌山で最も多くの疾患に対して腹腔鏡手術を安全に施行できる和歌山県下では数少ない施設のひとつにすることができたと自負しています。

当然のごとく当院赴任にあたり、これまでの経験のもとに質の高い腹腔鏡手術を患者さんに提供することが我々の使命と思っています。しかしながら、当院赴任までは大規模病院での治療経験であり、あらゆる合併症をお持ちの患者さんに対しても治療を行うことが可能でしたが、当院では少なからずの制約がかかることは否めません。

手前味噌ではありますが、私どものキーワードは「腹腔鏡手術のエキスパート」「豊富な経験」「最先端の手術手技」「最新の腹腔鏡手術機器装備」「大腸癌・胃癌・肝臓癌の集学的治療」と思っています。地域に根ざした医療でありながら、安全で質の高い腹腔鏡手術を提供したいと思います。

個々の症例に対するベストな治療法についてご相談させていただきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



外科部長
堀田 司

趣味：ゴルフ 好きな食べ物：和食

～ご挨拶～

整形外科部長
山崎 悟

趣味:内緒 好きな食べ物:秘密

新年のお慶びを申し上げます。昨年は先生方から整形外科に多数患者さんをご紹介賜りました事に深く感謝申し上げます。当科では松崎院長含め、7名体制で日々の診療を行っております。ご周知の通り、低侵襲の人工股関節置換術をはじめとした関節疾患はもとより、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎脊髄疾患診療にも力を入れて取り組んでいます。昨年1年間の手術件数は人工関節置換術230例(股関節173例・膝関節57例)、脊椎内視鏡手術102例と県内トップクラスの件数を施工いたしております。

当院理念でもある、地域社会に親しまれ、信頼される整形外科医療を提供できますよう、救急や、地域の先生方からのご紹介に迅速に対応すること、患者さんに安心して治療を受けていただける診療を心がけて参りました。今後も地域医療連携室を窓口とし、地域のニーズ以上の整形外科診療を提供できますよう精進して参りますので、より一層ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



～登録医総会開催のお知らせ～

7月27日(土)ダイワロイネットホテルにて登録医総会を開催いたします。

今回の特別講演は、済生会和歌山病院 堀田 司 副院長兼外科部長により講演させていただく予定です。

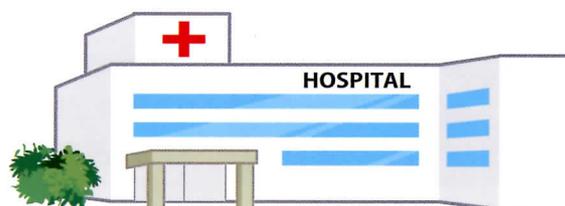
より多くの先生方とお逢いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

お忙しい中とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

詳細につきましては、改めてお知らせいたします。



ナデッチ



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成31年2月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	—	川口 雅功
		—	—	川口 雅功	—	—
	糖尿病代謝内科	—	玉川 えり	—	山本 昇平	—
		山本 昇平	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	—	—	—	医大応援医師	
	尾鼻 正弘	医大応援医師	尾鼻 正弘	下角 あい子	下角 あい子	
脳神経外科	廣緒 洋子	小倉 光博	小倉 光博 (もの忘れ外来)	小倉 光博 (もの忘れ外来)	▲仲 寛 山家 弘雄	
	三木 潤一郎	—	廣緒 洋子	三木 潤一郎	—	
外科(消化器)	堀田 司	交代制	堀田 司	交代制	石田 興一郎	
	重河 嘉靖		石田 興一郎		重河 嘉靖	
心臓血管外科	畑田 充俊	高垣 有作	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	谷上 正純	久保井 勇樹	新患診 (交代制)	松崎 交作	岡田 紗枝	
	岡田 紗枝	山崎 悟		山崎 悟	久保井 勇樹	
	西岡 修平	谷上 正純		西岡 修平	野中 研人	
リハビリテーション科	医大応援医師	—	医大応援医師	—	医大応援医師	
耳鼻咽喉科	クデウス・メーメット/村上大地	—	クデウス・メーメット	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	二出川 弘樹	佐々木秀一朗/松下愛	—	二出川 弘樹	日井 祐太/山口 雄大	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	康原 根浩	—	柑本 康夫	

※心臓血管外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。※循環器内科、下角あい子は(木曜日/第2、第4のみ1、3、5週目休診)となります。

【受付時間】 午前(全科) 8時30分～11時00分(但し、予約患者は除く)

- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- *月曜日午後15時から予約制でCGM外来を実施しています。
- *水曜日・木曜日の午後から小倉光博医師外来にて、もの忘れ外来を行っています。(予約制)

- ▲金曜日の脳神経外科は毎月第2週目のみ山家先生に診察医が変わります。
- *当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。
- ご紹介の際は患者さんの待ち時間短縮の為にもご予約をお取り下さいます様お願いいたします。

診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時(但し、予約患者はこの限りにあらず)

休診日：土・日・祝祭日(年末年始)

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ



地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187